

赤十字は、 動いてる！

今、危機に瀕している 1億人の命をつなぐために。



NHK 海外たすけあい

2023年 12月1日(金)～12月25日(月) 日赤 海外たすけあい

「NHK海外たすけあい」に
関心をお寄せいただき、
ありがとうございます。

この活動は、日本赤十字社とNHKが
毎年12月に実施している
募金キャンペーンです。

国際社会の関心や支援が
希薄になることは、
苦しんでいる人が取り残されてしまう
危うさを示唆しています。

私たちは、いのちと健康を守るために、
それぞれの地域に根差した支援を、
今日も明日も続けていきます。



©Ibrahim Mollik

赤十字の支援活動

今、危機に瀕している 1億人の命をつなぐために。

ウクライナやシリアだけじゃない。

今、世界中で1億人以上の人たちが

紛争などから避難して、

危機的な状況にさらされています。

これらの人々の命と健康、尊厳を守るために、

赤十字は『NHK 海外たすけあい』を通して、

365日支援活動を続けています。

関心が薄れた人道危機でも

誰一人取り残さないために、

みなさまのご支援をよろしくお願いします。



©ウクライナ赤十字社

〈CASE 1〉 紛争に伴う難民・避難民などへの対応

世界の難民・避難民は、近年増加の一途をたどり、2022年末、初めて1億人を超えてしまいました。ウクライナのみならず、中東地域、バングラデシュなどでは、先の見えない状況で人道危機が長期化し、多くの難民・避難民は厳しい環境下での生活を続けています。赤十字は、医療支援、救援物資の配布、こころのケア、給水支援、生計支援など現地の人びとに寄り添った支援を継続しています。



©ヤンマー赤十字社



©IRCIS

〈CASE 2〉 頻発、激甚化する 災害への対応

世界各地で気候変動の影響と見られる災害が頻発しています。災害により、貧困・食料危機がさらに深刻化している状況です。赤十字は、医療サービスの提供や給水・衛生支援、こころのケア、食料支援、現金・物資給付による総合的な生計支援など様々な支援を実施しています。



〈CASE 3〉 人びとのレジリエンスを 高めるために

赤十字では、平時から人びとが予測不能な災害などに備え、自ら対応し、立ち上がる力=「レジリエンス」を高めるための防災教育や救急法の普及を行っています。地域の生活習慣や文化をよく理解した上で、現地ボランティアとも協力して活動に取り組んでいます。

世界から届いた「ありがとう」の声



ウクライナ
ラリサさんとお母さん

「私たちはウクライナ東部の町に住んでいました。武力紛争当初、私たちは地下室で2ヶ月間過ごしましたが、戦闘がそこまで迫っていました。ある日、母の体調が悪くなってしまい、私たちは逃げることにしました。今は中部の町に暮らしています。ここに着いてから赤十字に会って、私も食べ物や衛生物資など必要な支援を得ることができました。」



ケニア
ファルヒヤさん

「近年、村ではお金も食料もまともにない日が続き、私の商売もうまくいかず、生活はかなり厳しかったです。でも、赤十字の現金給付による支援により、村人はまた買い物ができる、私も収入が得られるようになりました。今では村人たちの生活も少し良くなり安心しています。」



インドネシア
ノビリタさん

「新しいことを知って、学んで、その知識を役立てることができるのが嬉しいです。活動を通じて、たくさんの人たちに会えることも楽しみの一つです。災害時には被災した人の家へ駆けつけ対応したことも何度もありました。」

あなたのご寄付でできること

2,000円

▶ 安全な水 2ℓ×40本



不衛生な環境下で暮らす人びとに飲料水、生活や医療で使用する水を届けます。

5,000円

▶ 給食 30人分



おなかを満たせない子どもたちへ支援を行います。

10,000円

▶ 小児用医薬品 500人分



下痢や感染症で命の危機に瀕している子どもに医薬品を届けます。

「NHK海外たすけあい」の特徴

特徴

1

今年で41回目を迎える 歴史と信頼のある募金キャンペーン

国際赤十字創設120周年、NHKテレビ放送開始30周年という記念の年であった1983年にはじまり、現在まで長きに渡って続いている歴史のある募金キャンペーンです。

特徴

2

必要な人に、必要な支援を 対象を絞らず 幅広く行き届く支援

女性や子どもはもちろん、より幅広い人びとに支援を届けるとともに、紛争や災害など、様々な危機を対象に支援を行っています。

様々な人びとを支援



様々な危機に対して支援



紛争

自然災害

病気

特徴

3

ご寄付が 実際の支援に充てられる割合は 94%

ご寄付の94%を実際の海外支援活動に充てており、緊急救援から復興支援、開発協力に至るまでご寄付を有効活用しています。

実際の支援に
充てられる
寄付の割合



一緒に、救える 日本赤十字社へのご寄付の方法

郵便局・各金融機関

全国の郵便局、その他取扱いのある金融機関で寄付できます。



インターネット

クレジットカードやPay-easyで寄付できます。

日赤 海外たすけあい

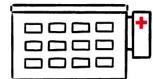


<https://www.jrc.or.jp/tp/save365/donation/>



窓口

日本赤十字社の各都道府県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK各放送局などから寄付できます。



その他

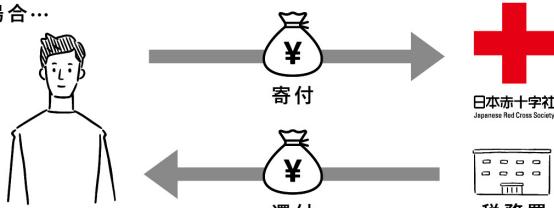
Yahoo!ネット募金やAmazonサイト、ローソンの店頭マルチメディア端末「Loppi」、ファミリーマートの「マルチコピー機募金受付サービス」、SoftBank「つながる募金」から寄付できます。相続による寄付も受け付けています。



税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や、企業の法人税の優遇措置を受けられます。

個人の場合…



所得控除の計算式

$$A: \text{年間所得総額} - B: (\text{寄付金額}^* - 2,000\text{円}) = C: \text{所得税課税対象額}$$

*ただし、寄付金額は年間所得総額の40%が上限となります。